



すばやい避難がなにより大事!!

津波が起きたらどうする?!

津波ってなに? どうして起こるの??

津波は海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべり、海底での地崩れ、海底火山の噴火などによって引き起こされます。海底で起きた現象によって、海水が陸地に押し寄せる現象を「津波」といいます。



▶ 津波警報・注意報とは?

沿岸の海域で地震が発生し、津波による災害が予想された場合、地震発生後およそ3分で警報及び注意報が発表されます。警報・注意報が発表された場合は、「より遠く」、「より高い場所」へ避難しましょう。



	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表(津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで 3m を超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大 「巨大」予想の場合は、東日本大震災のような津波が襲うおそれがあります	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部 や 川沿い にいる人は、直ちに 高台 や 避難ビル など 安全な場所 へ避難してください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで 1m を超え、 3m以下 の場合。	10m (5m<予想高さ≤10m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部 や 川沿い にいる人は、直ちに 高台 や 避難ビル など 安全な場所 へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで 0.2m 以上、 1m以下 の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	5m (3m<予想高さ≤5m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、小型船舶が転覆します。 海の中 にいる人は直ちに 海から上がって 、 海岸から離れて ください。

Q

津波から身を守るにはどうすればいいの？

A

とにかく逃げてください!!!



弱い地震でも要注意！揺れが小さくても「津波は来る」!!

強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても長時間ゆっくりとした揺れを感じたときは直ちに海岸から離れ、「より遠く」、「より高い場所」に避難しましょう。

津波は繰り返し来る！



津波は繰り返し襲ってくることもあり、必ずしも津波の第1波が最大とは限りません。津波警報・注意報が解除されるまでは警戒してください。

津波のスピードは速い！



津波の速度は海岸付近でも時速36km(秒速10m)程度もあるので、津波を見てから避難を始めたのでは間に合いません。早めの避難を心がけましょう。

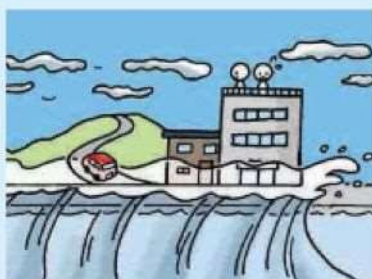
海岸から離れる！



地震を感じなくても津波警報・注意報が発表されたときは、直ちに海岸から離れ、安全な場所に避難しましょう。

チリ地震津波(1960年)では、津波が約1日かけて日本の沿岸に到達しました。

「より遠く」、「より高い場所」へ！



海岸の地形などによって予想された高さを超える津波が発生する場合があります。すでに浸水が始まっている場合は、可能な限り「より遠く」、「より高い場所」へ避難しましょう。

避難に車は使わない！



東日本大震災では車で避難して助かった人もいますが、道路の渋滞により、車ごと津波の犠牲になった人もたくさんいました。避難は徒歩が原則です。

日頃の備えが重要！



津波から身を守るためには、日頃からの備えが重要です。津波ハザードマップを見ながら、自宅・勤務地・学校における危険度を把握しておきましょう。



津波ハザードマップ〈市全域図〉

津波浸水予測図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)

津波ハザードマップについて

北海道では、大きな地震に伴い発生する津波により、津波被害が発生しています。中でも、平成5年の北海道南西沖地震では、大津波が奥尻島に押し寄せて大被害を与え、死者・行方不明者は229人に達しました。

近い将来に発生することが指摘されている日本海溝・千島海溝周辺の海溝型地震が発生した場合、甚大な津波被害発生の危険性が指摘されており、津波防災対策の一層の充実が求められています。

津波防災対策の一環として、北海道は、太平洋沿岸について最大クラスの津波を想定し、津波により浸水する可能性のある区域と浸水深、津波が到達するまでの時間を示す津波浸水予測図を作成しました。

津波による人的被害を最小限に食い止めるためには、的確・迅速な避難が最も重要です。

このため、苫小牧市では、津波浸水予測図をもとに、避難所などの情報を載せた「津波ハザードマップ」を平成25年に作成しました。

皆さんは「津波ハザードマップ」を見て、津波による浸水区域や避難所、津波に対する注意点などについて日頃から確認し、津波が発生したときにとるべき行動を普段からご家族や地域で話し合っておきましょう。

なお「津波ハザードマップ」に示す浸水区域と浸水深、津波到達時間は、震源の位置や地震の規模などにより、変化することがありますので、ご注意ください。

津波シミュレーションの想定津波波源域および結果

●想定津波波源域

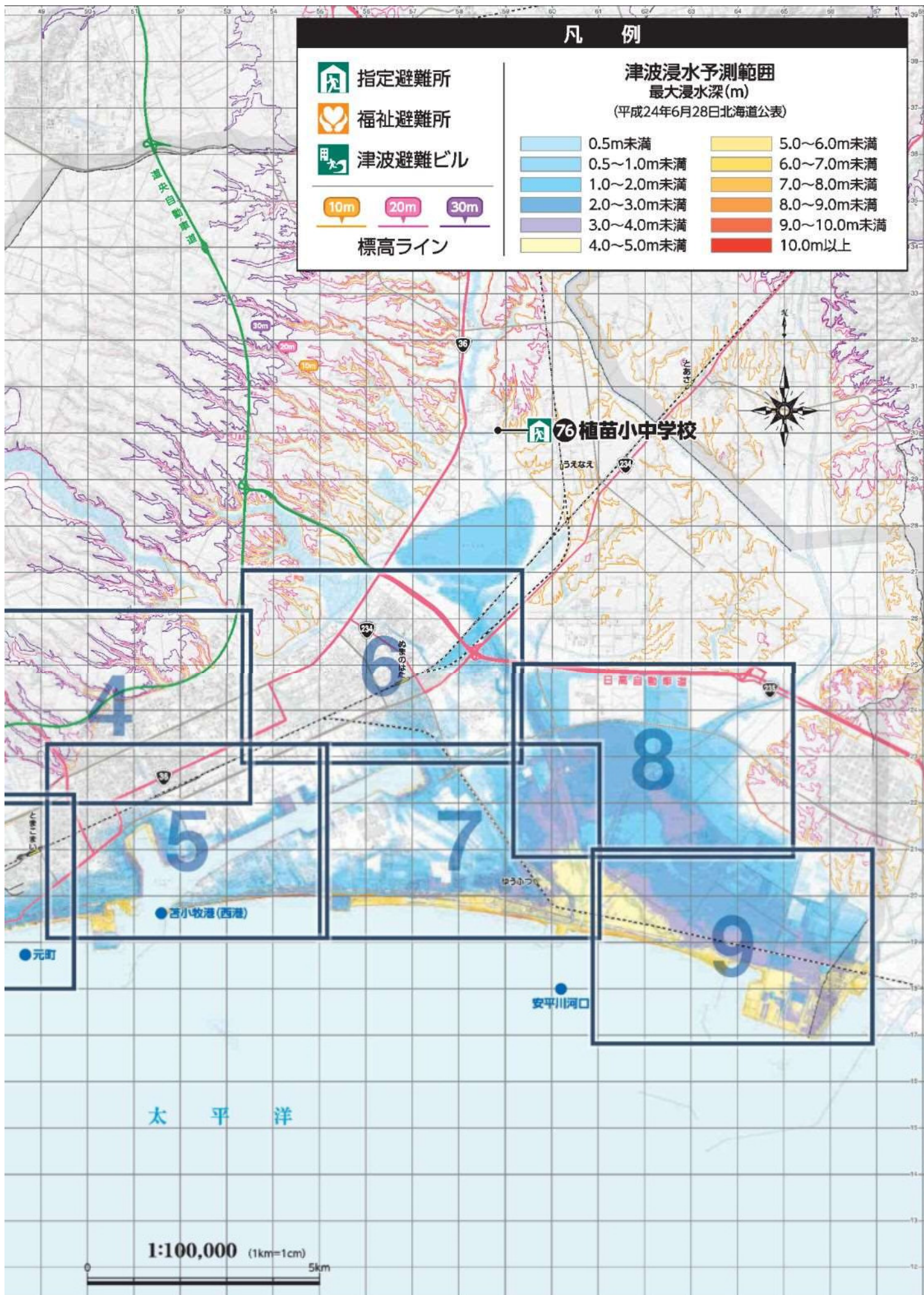


●津波シミュレーション結果

代表地点※	影響開始時間 (分)	第1波到達時間 (分)	第1波最大水位 (m)	沿岸最大水位 (m)
錦岡	21	49	7.3	8.2
元町	22	51	6.4	8.5
苫小牧港(西港)	25	51	5.8	6.4
安平川河口	26	57	7.7	8.1

影響開始時間：水深10m地点での地震発生から±20cmの水位変化が生じるまでの時間
第1波到達時間：水深10m地点での地震の発生から津波第1波のピークが到達するまでの時間
第1波最大水位：水深10m地点での津波第1波の最大水位(津波全体の最大水位とは限りません)
沿岸最大水位：沿岸部での津波第1波の最大水位(津波全体の最大水位とは限りません)
※代表地点は、沿岸の水深10mの地点で、地図上に●で示しています。



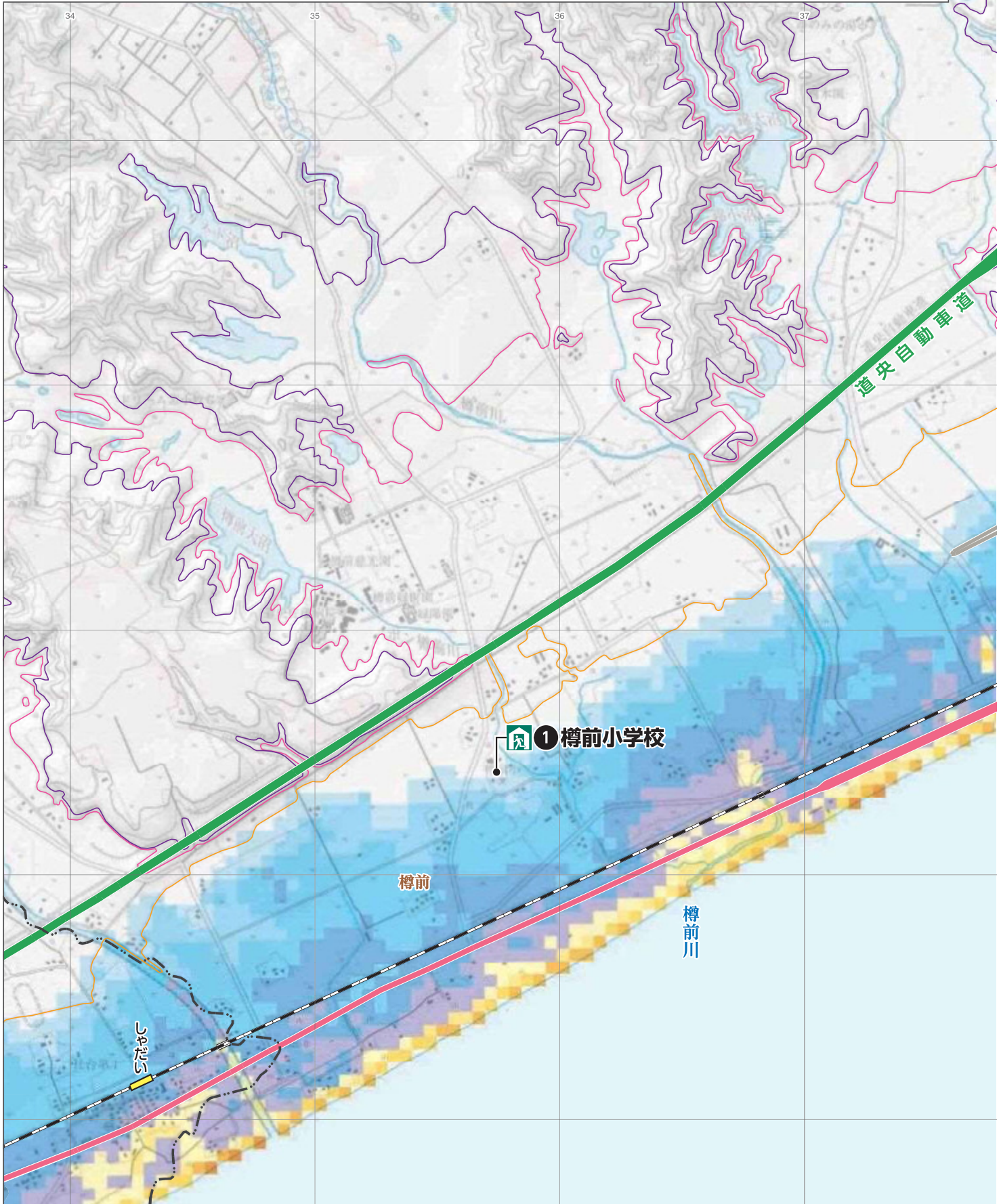




津波ハザードマップ 1

津波浸水予測図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)





津波

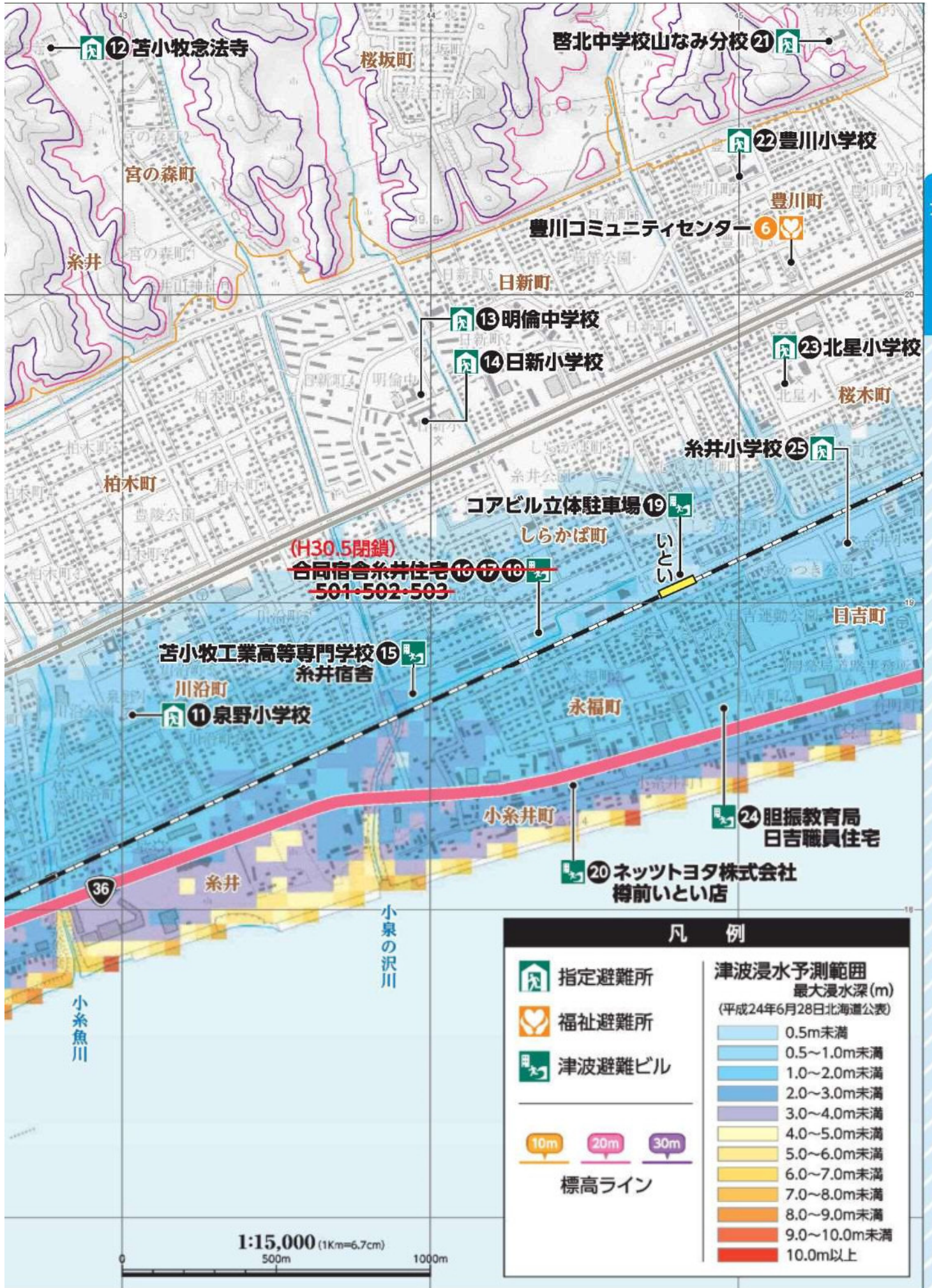
津波ハザードマップ ①





この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)







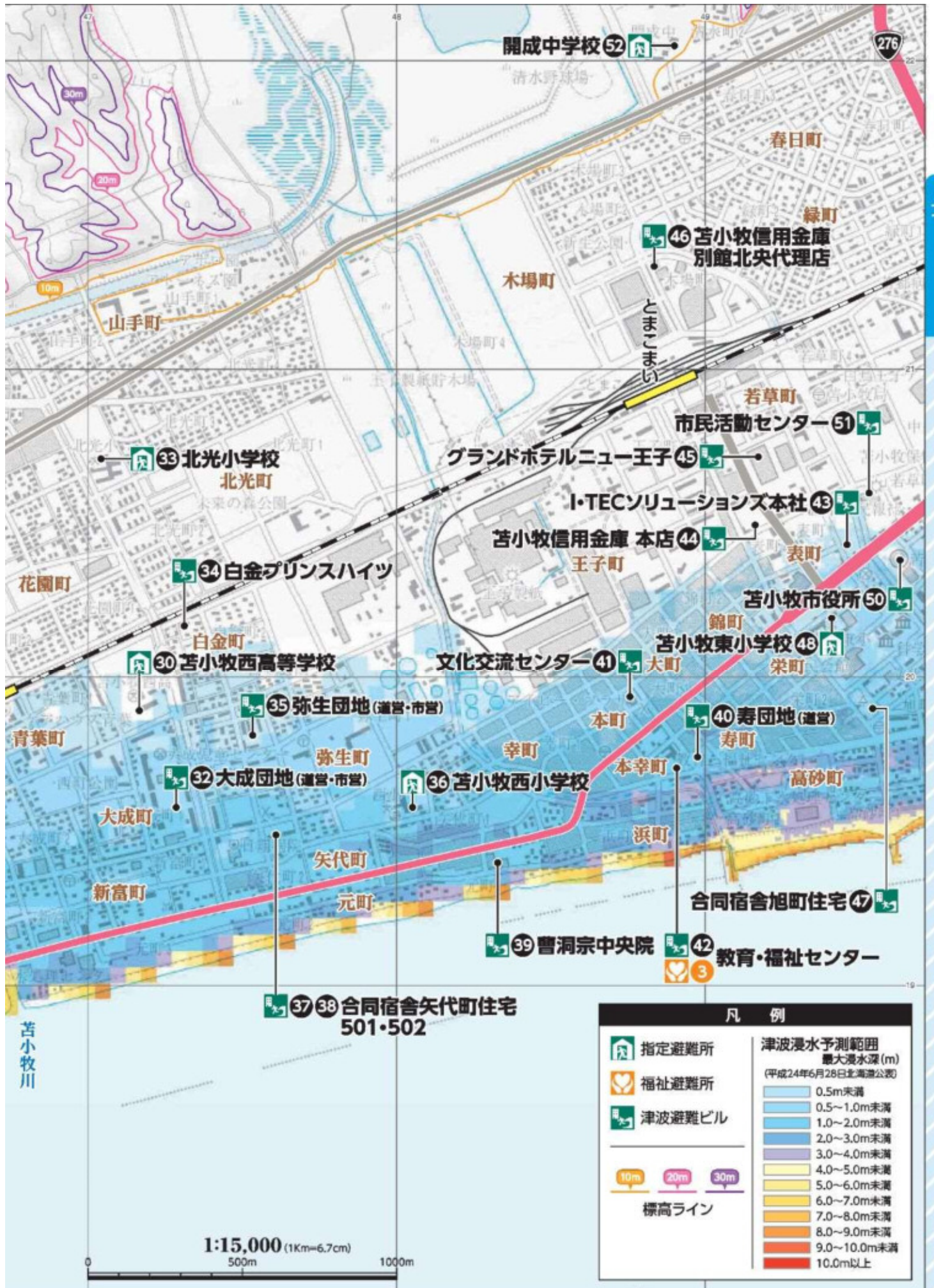
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)





津波

津波ハザードマップ 3

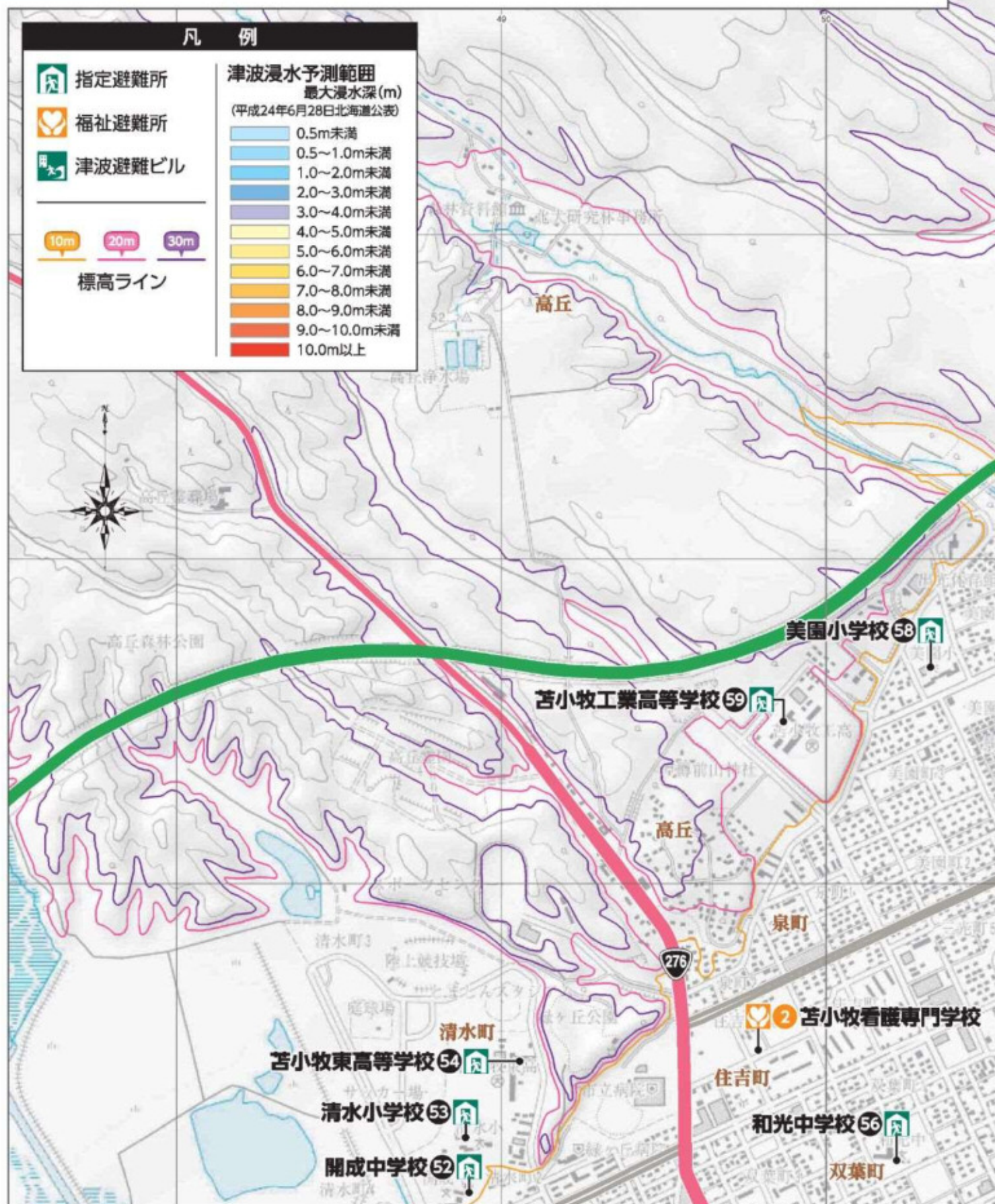


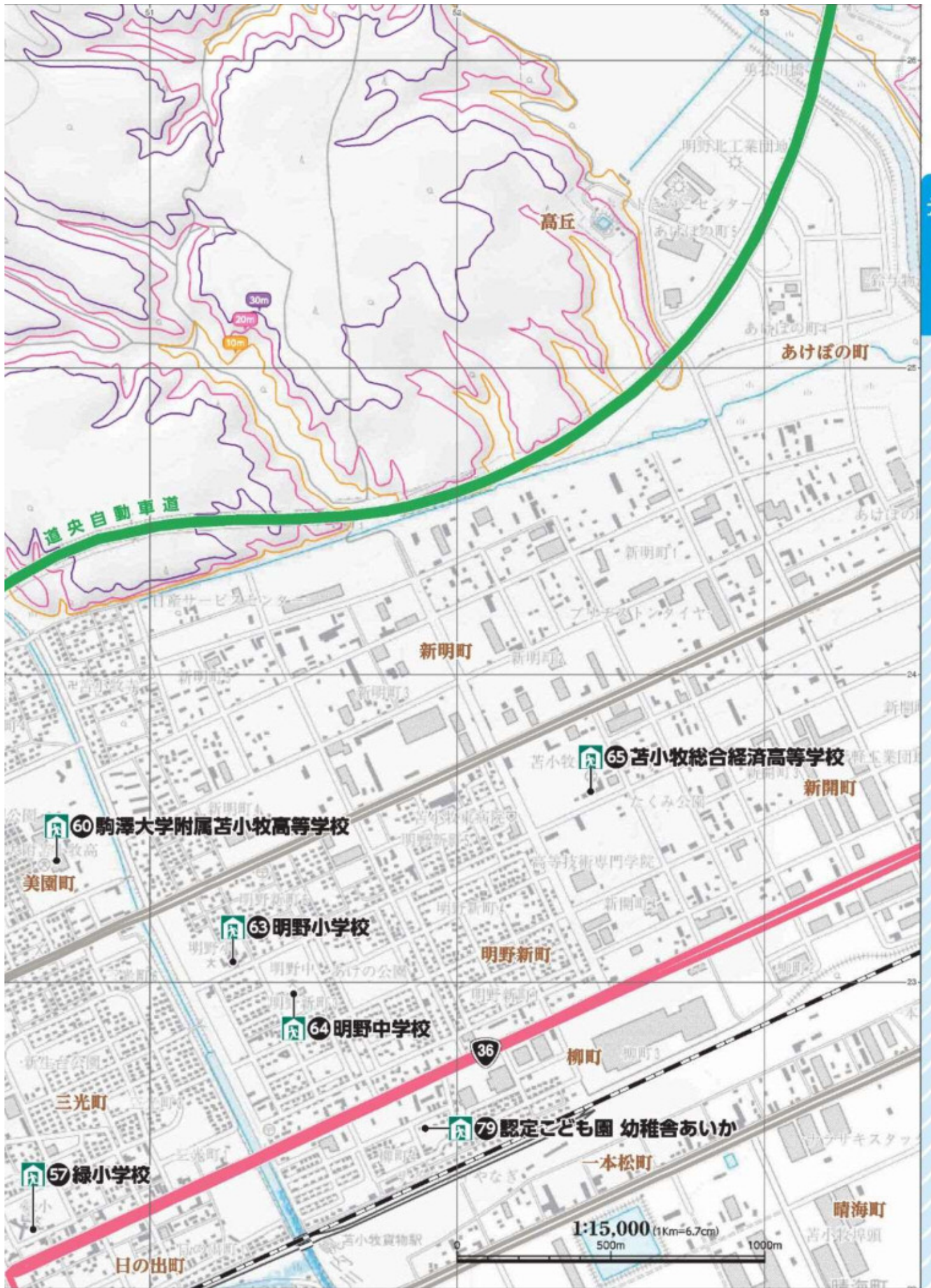


津波ハザードマップ 4

津波浸水予測図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、国院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)

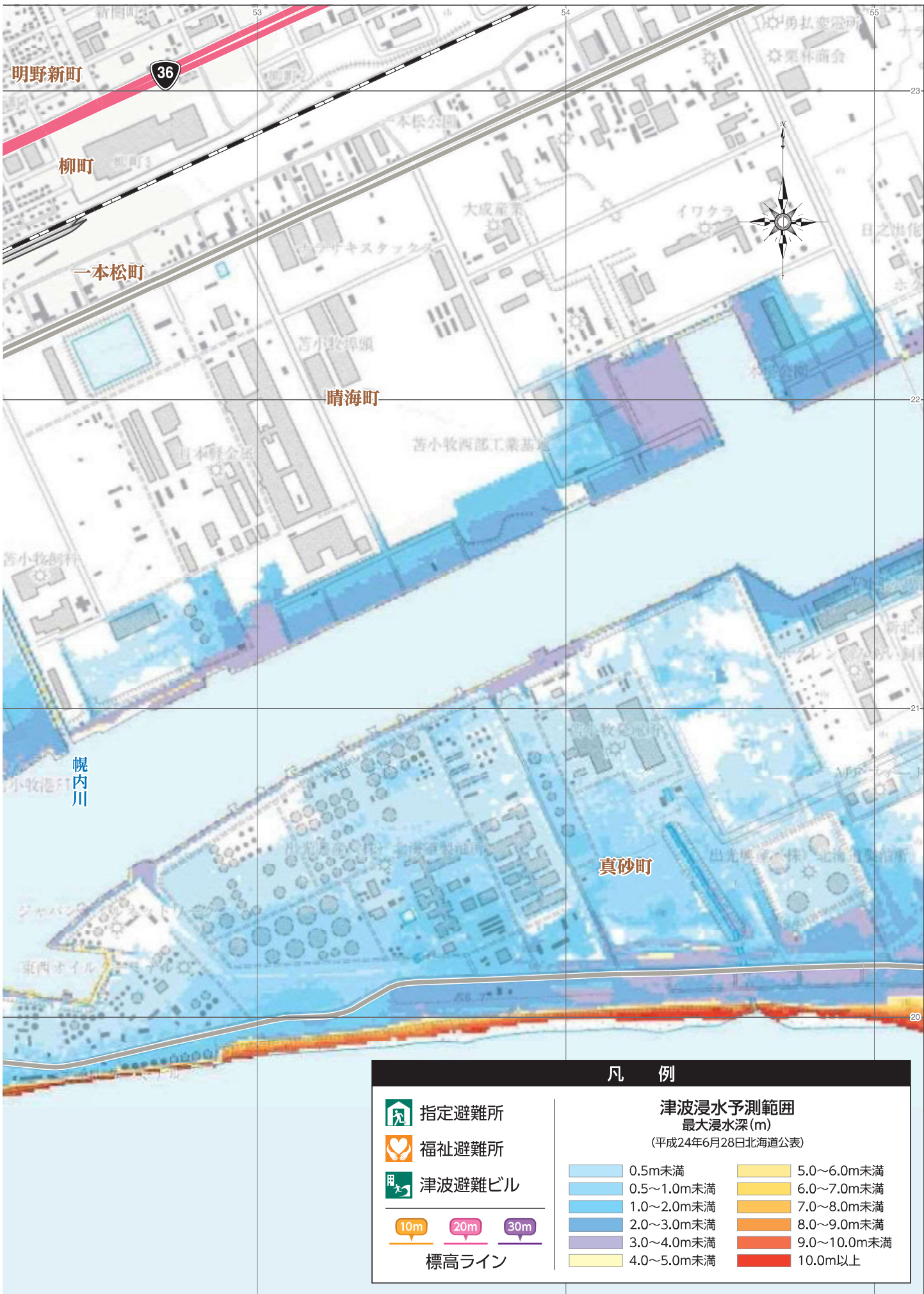






この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)

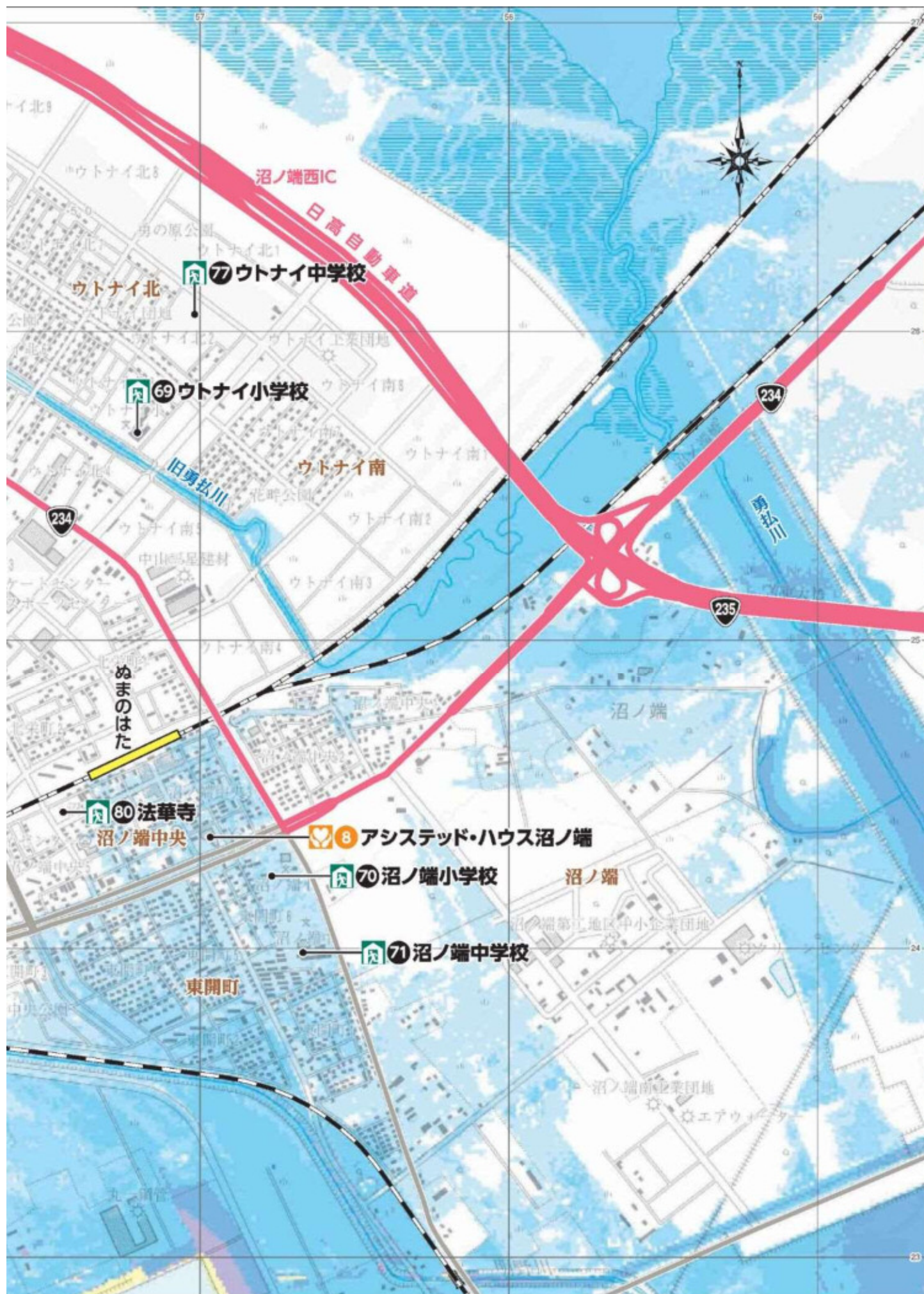






この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)



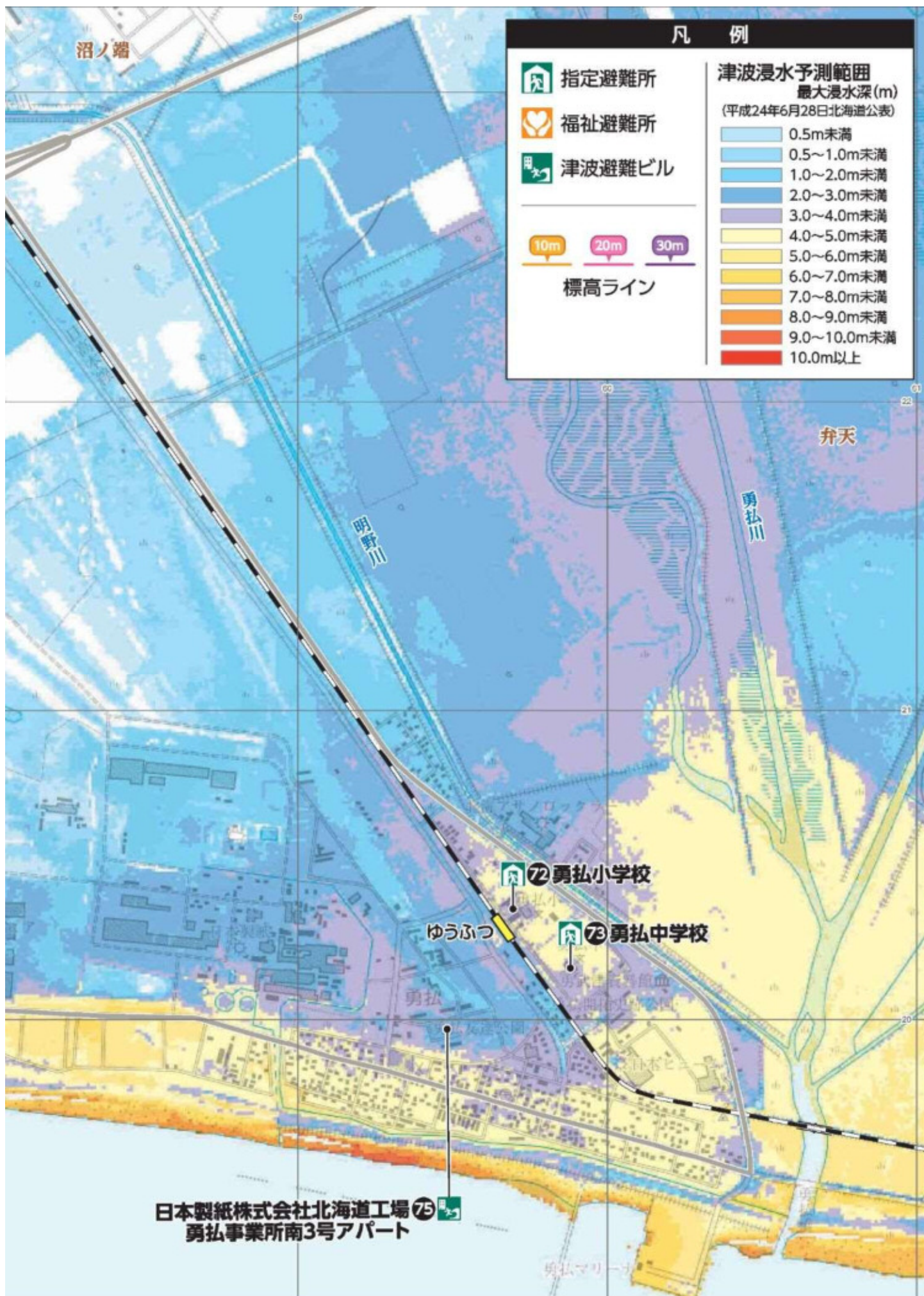




津波浸水予測図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)



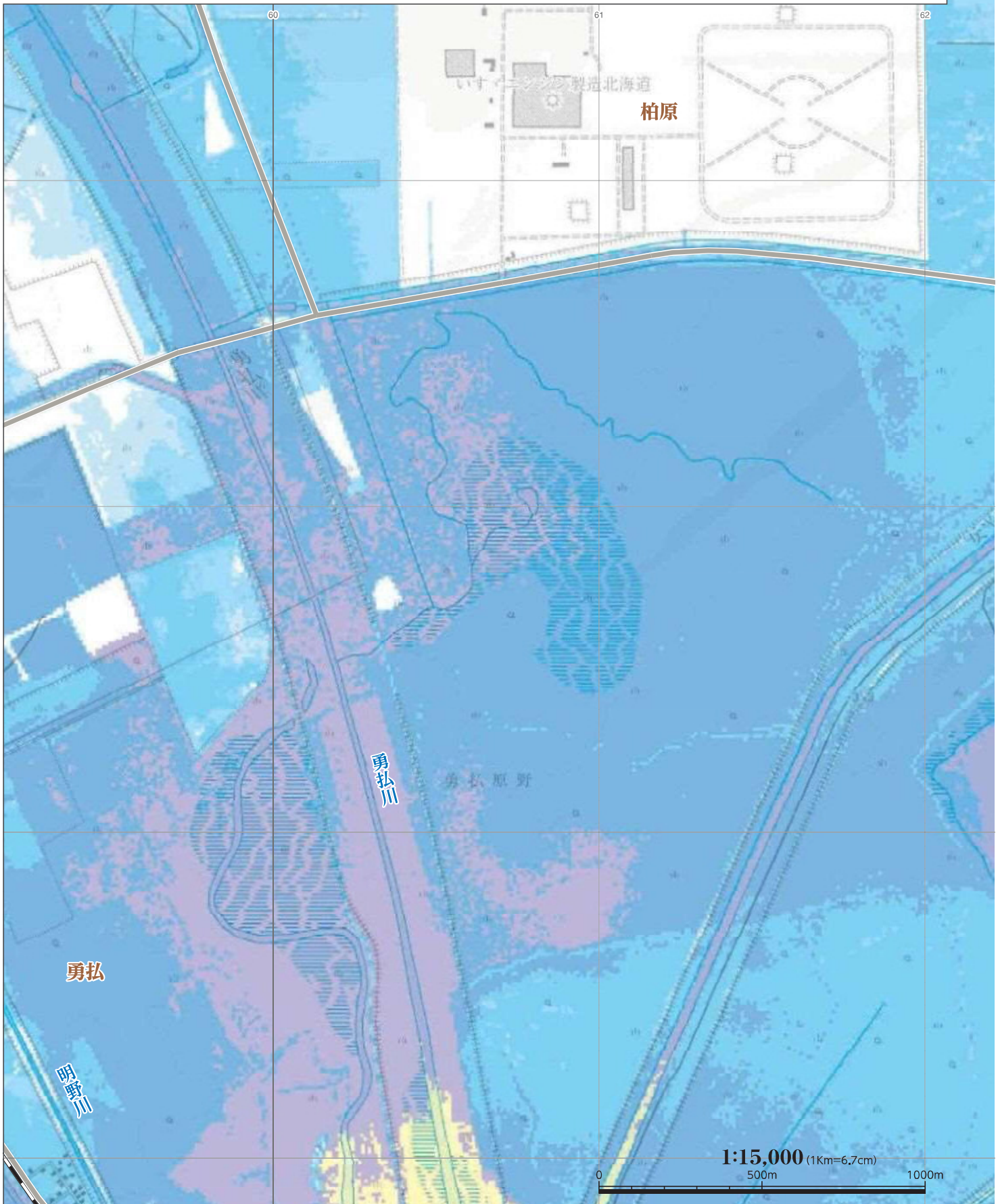


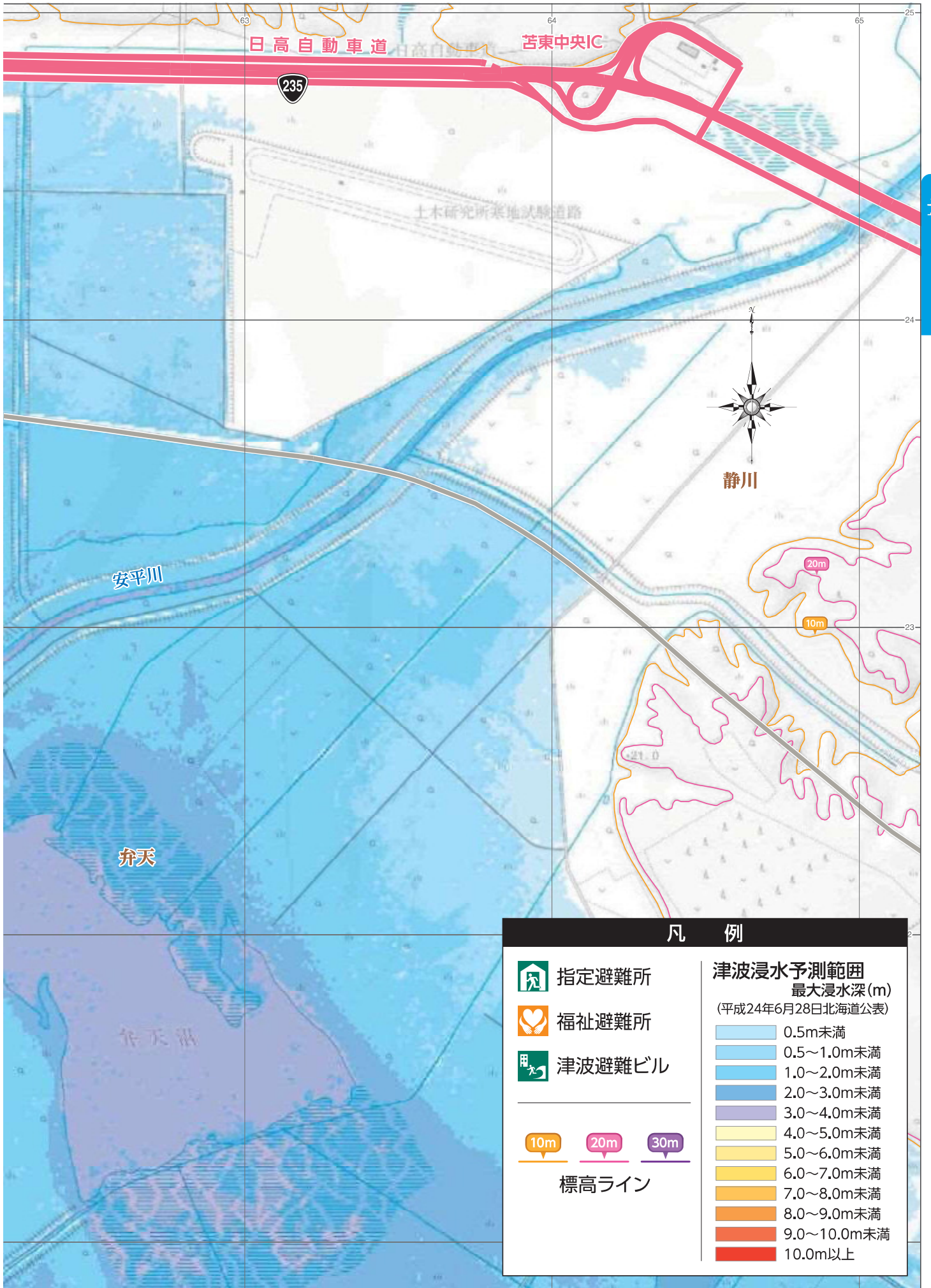


津波ハザードマップ 8

津波浸水予測図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)







津波ハザードマップ 9

津波浸水予測図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 令元情使、第415-GISMAP43000号)

